

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和3年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センター
指定管理者名	公益財団法人 相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立ふれあいセンター条例及び相模原市立相模の大風センター条例
施設の設置目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康の保持及び増進並びに高齢者の福祉の向上に寄与する(相模原市立ふれあいセンター条例第2条) 相模の大風文化の保存、継承を図るとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、もって豊かな市民文化の向上に寄与する(相模原市立相模の大風センター条例第2条) 相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センターは、直営の新磯こどもセンターを併設している。三施設を合わせた複合施設の愛称を「れんげの里あらいそ」とし、各施設が連携を図ることにより世代を超えた交流の場となることを複合施設設置の目的としている。
施設概要	所在地:相模原市南区新戸2268番地1 構造:鉄骨造一部鉄筋コンクリート 2階建 面積:れんげの里あらいそ 延床:3,068.40㎡ 敷地:5908㎡ 新磯ふれあいセンター 1,610.95㎡ 相模の大風センター 937.82㎡
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課、南区役所 地域振興課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用人数	新磯ふれあいセンター	85,301	79,631	62,175	313	20,146	
	相模の大風センター	10,262	12,181	10,261	1,419	4,062	
	全体合計(人)	95,563	91,812	72,436	1,732	24,208	
利用料金	新磯ふれあいセンター	4,778,590	4,519,760	3,740,285	15,375	1,641,555	
	相模の大風センター	366,860	307,825	298,000	0	179,100	
	全体合計(円)	5,145,450	4,827,585	4,038,285	15,375	1,820,655	

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う施設休所の期間について

○新磯ふれあいセンター

- 令和元年度：令和2年3月1日～31日で休所（329日間の開所）
- 令和2年度：令和2年4月1日～令和3年1月3日、1月8日～3月21日の期間で休所（14日間の開所）
- 令和3年度：令和3年8月6日～9月30日（302日間の開所）

○相模の大風センター

- 令和元年度：令和2年3月1日～31日で休所（329日間の開所）
- 令和2年度：令和2年4月1日～7月9日、令和3年1月8日～3月21日の期間で休所（192日間の開所）
※工作室については令和2年7月10日～12月28日を利用中止
- 令和3年度：令和3年8月6日～9月30日（302日間の開所）

3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
D	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための施設休所や、利用人数の制限などを行ったことから、目標達成は著しく困難であった。しかしながら、利用者の安全確保に努めるなど、コロナ禍においても適切な施設管理を行った点は高く評価する。

指標	
指標名 (単位)	施設利用率(夜間を除く)(%)
指標式と指標の説明	専用利用に係る承認件数/専用利用申込み可能件数

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	(※1)	(※1)	63%	64%	65%	66%	67%
実績値 (%)	61.9%	58.3%	53.7%	(※2) 13.6%	45.3%		
達成度 (%)	(※1)	(※1)	85.2%	(※2) 21.2%	69.7%		

(※1) 平成30年度までは夜間利用を含めた目標設定だったため、平成29年度及び平成30年度は夜間利用を除いた実績を記載

(※2) 令和2年度については開所期間が短かったことから評価対象外。開所期間 (14日間) の実績値及び達成度。

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う様々な制限がある中、コロナ禍において実施可能な事業を検討し、積極的な事業実施に努め、一部の事業では定員に達するなど、事業の実施状況については、高く評価できる。施設にある資源を最大限活用しながら、より魅力ある事業を企画、実施していくことを今後も期待する。

市が指定する事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
高齢者ふれあいの湯	1月 (11月中止)	濃縮温泉水を使用し、温泉気分を味わっていただき、健康増進を図る。(参加者:152人)	○
凧の展示	通年※	大凧センターに寄贈された凧等の展示を行う。小学校等の授業で見学に来ることも多く施設の目玉となっている。(参加者:2,684人)	○
大凧まつり写真展	7月～8月※	過去の相模の大凧まつり写真コンクールに応募いただいた写真を館内に展示し、来館者に相模の大凧文化に触れて頂く機会を提供する。(参加者:121人)	○
凧作り教室	6月～3月※	凧の絵付けや、竹骨の組み立て、糸目付を通して日本の伝統文化「凧」の魅力を伝える。(参加者:43人、定員:各回5家族)	○

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う施設休所のため、8月及び9月は中止

企画提案事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
リンパの流れとヨガ教室	4月～6月	ヨガ体操を通してリンパの流れを良くし、健康づくりや仲間づくりを図る。(参加者/定員:25名/40名)	○
帆掛け舟の展示会	6月～7月	帆掛け舟を展示し、地域の歴史・文化の振興を図る。(参加者:475人)	○
寄せ植え教室	11月	季節の一年草数種類を植え付けて、半年間ほど花を楽しむ寄せ植えにする。(参加者/定員:10人/10人)	◎
変わり湯(ゆずの香)	12月	冬至にゆず湯に入浴し、健康増進を図る。(参加者:35人)	○
初心者向け体幹を鍛えるバランスボール教室	3月 (9月中止)	初心者の方向けにバランスボールを使った軽いエクササイズを行い、定期的に運動の習慣をつけることで健康の増進を図るとともに仲間づくり及び教養・文化の向上を図る。(参加者/定員:22人/20人)	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	施設全体の実績値は、有効回答が271人、満足及び概ね満足の合計が268人で、実績値98.9%、達成度109.9%となることから、基準により「A」評価とする。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う様々な利用制限を実施し、利用者の方にご不便をお掛けした中で、高い満足度を達成できたということは、日ごろから利用者へ寄り添った接遇を行っている表れであり、非常に高く評価できる。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	調査手法：利用者満足度調査(アンケート)／時期：令和3年6月14日～27日 回答数数：ふれあいセンター189人、大風センター82人
目標値の基準	90%(利用満足度の設問に対する「満足」と「概ね満足」の合計の割合)

新磯ふれあいセンター

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%
実績値（%）	98.4%	95.5%	95.7%	—	98.4%		
達成度（%）	109.3%	106.1%	106.3%	—	109.3%		

相模の大風センター

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%
実績値（%）	92.1%	90.6%	93.8%	—	100.0%		
達成度（%）	102.3%	100.7%	104.2%	—	111.1%		

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱	通年	ご意見箱を設置し、いつでも気軽にご意見を受け付けられるようにしている。
事業参加者アンケート	通年	自主事業開催時に参加者を対象にアンケートを実施。受け付けたご意見を参考に、新規事業等に反映していく。
施設利用団体連絡会	毎月1日	毎月1日に実施している専用利用の抽選会の際に、団体に対する連絡事項の伝達及び団体からのご意見等のヒアリングを行っている。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	本体事業収支。全体収支ともに黒字であり、団体本体の経営状況についても特段の問題がないため、「S」評価とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載		
		(千円)		
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)		67,845	71,845	69,410
	指定管理料	63,794	64,268	63,991
	利用料金収入	4,038	18	1,821
	その他の収入	13	7,559	3,598
支出 (b)		67,535	54,799	58,562
	人件費	26,521	23,043	25,823
	本社管理経費	6,316	4,618	4,462
	その他の支出	34,699	27,138	28,277
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		310	17,046	10,848
自主事業収入 (d)		851	145	459
自主事業支出 (e)		829	120	204
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		22	25	255
全体収支 【(c)+(f)】		331	17,072	11,103
備考	指定管理料の返還分については、対象年度の翌年度に返還されていることから上記金額に含まず。返還金額：令和元年度分488,091円、令和2年度分14,255,855円、令和3年度9,133,344円			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	実施検査及び指定管理者へのヒアリングにより実施
実施時期	令和4年3月16日・3月18日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	加点事由あり
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	指定管理者作成の文書管理規程に基づき適切に文書が保管されており、個人情報を含む廃棄文書についても適切に処理されていることから加点とする。	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	なし

9 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症予防対策による利用制限も緩和され、皆さまに安全安心にご利用いただけるように感染症対策を徹底しながら施設運営を行った。施設の存在を多くの方に知っていただくため、相模の大風センターにフォトスポットの設置や、各種メディア等を活用した施設PRに注力した。さらに、利用者ニーズを踏まえ、魅力的な自主事業を展開するなど、コロナ禍において、利用制限がある中でも集客に努めた。

また、剰余金の還元として、以前から要望があった交流広場のカーテンについて全面取替えを実施したことで、利用者の方にも大変好評であった。今後は、コロナ禍以前の利用率に回復できるよう、工夫を凝らした施設PRや利用者ニーズを反映した自主事業の実施に取り組んでいきたい。

10 所管課意見

本年度は成果指標を達成できなかったが、成果指標達成に向けた事業展開やコロナ禍における利用者の安全性の確保など、数値で表れない部分において、施設管理者として積極的な取組みが見られたことは高く評価できる。また、コロナ禍で様々な利用制限を行い、利用者にご不便をお掛けしている中、利用者満足度調査で高い満足度を得られたことは、日頃から利用者にとって適切な接遇が出来ていることの証左であり、非常に高く評価できる。

来年度以降は、コロナ禍以前の利用率を目指し、更なる魅力的な事業展開を行うことを期待するとともに、大風の展示を積極的に活用したPRを行い、相模の大風文化の更なる振興に努めていただきたい。

11 選考委員会意見

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う施設の利用制限を行う一方で、利用者の増という目標もあり、大変な施設運営であったと推察される。本年度も成果指標の未達という結果になったが、日々の接遇やコロナ禍でも実施可能な事業を模索するなど、成果指標の達成に向けた試みは評価に値する。

また、相模の大風については、相模の大風まつりが近年中止になっていることもあり、その文化の振興が大きな課題の1つであるが、常設展示されている相模の大風を積極的に活用し、ボランティアと協働しながら、相模の大風文化の発信拠点として積極的な役割を担うことを期待する。

